

## DTMCHostの使い方

## — SDロガーのコンフィギュレーションとアップデート —

2019年2月12日 株式会社データ・テクノ

## ■■■はじめに■■■

SDロガーは、ディップスイッチ設定以外に、パソコンとシリアルケーブルで接続し、設定を変更(コンフィギュレーション)することができます。

またお客様のお手で、内部プログラムをアップデートすることが出来ます。

このマニュアルは、それら方法について述べます。

設定変更、アップデートを行なう手順は、概ねつぎのとおりです。

1. SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost) (パソコンソフト)をご用意ください(弊社Webサイトからダウンロードできます)。
2. ロガーと、パソコンのシリアルポートを、クロスケーブルで接続してください。  
シリアルポートが無い場合は USB シリアルアダプターをご使用ください。
3. ロガーのディップスイッチを設定し、コンフィギュレーションモード、またはアップデートモードにしてください。
4. ロガーからはカードを抜いて電源を入れてください。
5. 設定・アップデート用ホスト(DTMCHost)を起動し、実行してください。

## ■■■設定項目■■■

設定変更できる項目は、つぎのとおりです。

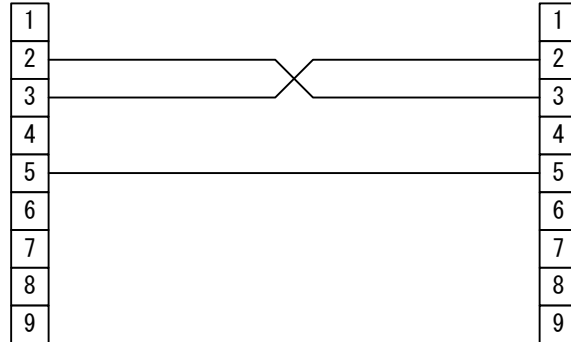
項目	選択肢
機能	スクリプト版
	コマンド版
データビット ※1	8[ビット]
	7[ビット]
ストップビット ※1	1[ビット]
	2[ビット]
ビットレート ※2	300[bps]
	1,200[bps]
	2,400[bps]
	4,800[bps]
	9,600[bps]
	19,200[bps]
	38,400[bps]
	57,600[bps]
	115,200[bps]
230,400[bps] [アドバンスド版のみ]	
フロー制御	RTSによるフロー制御を行なわない(DISABLE)。
	RTSによるフロー制御を行なう(ENABLE)。
自動クリア	通信エラーの自動クリアを行なわない。
	通信エラーの自動クリアを行なう。

※1:ディップスイッチ 6 が ON の場合

※2:ディップスイッチ 1～3 がすべて ON の場合

## ■■接続■■

ロガーのD-Sub9ピンコネクタと、パソコンのシリアルポートコネクタを、クロスケーブルで接続してください。  
クロスケーブルに必要な最小限の配線は、つぎのとおりです。  
出力同士が衝突しないようご注意ください。  
ロガーのD-Sub9ピンの信号入出力は、取扱説明書をご参照ください。  
おそらくは市販されている一般的なクロスケーブルが、ご使用可能です。



## ■■SDロガー設定用ホスト■■

つぎに示すSDロガー設定用ホストをご使用ください。  
インストール作業は特に必要ありません、ダウンロードした「DTMCHost.exe」を適切なフォルダに置き、ダブルクリックなどで起動してください。  
実行には、「.NTE Framework 4.5」以降を必要とします。  
「.NTE Framework 4.5」は、Windows Vista 以降にインストールすることができ、Windows 8 以降にはプレインストールされています。

SDロガー設定用ホスト	DTMCHost.exe
-------------	--------------

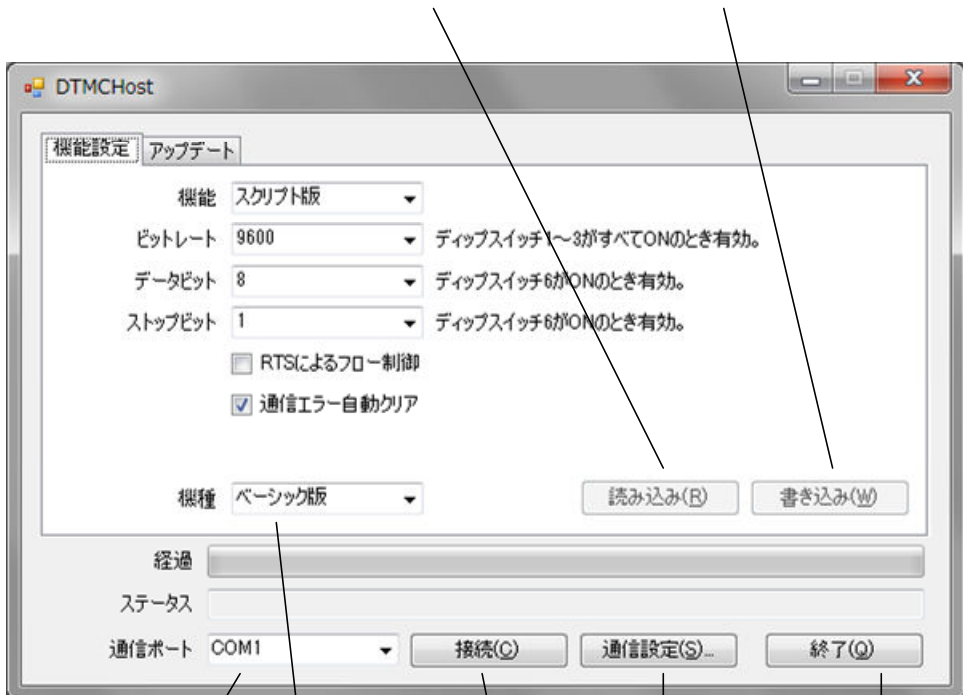
■■設定変更(コンフィギュレーション)■■

ロガーのディップスイッチ7をONにし、コンフィギュレーションモードにしてください。  
 カードを装着していない状態にしてください。カードが装着されているとコンフィギュレーションモードになりません。  
 9, 600bps、データ8ビット、パリティなし、ストップビット1で行なう場合は、つぎのような設定になります。

ディップスイッチ							
1	2	3	4	5	6	7	8
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF

パソコンとの接続、ディップスイッチの設定ができたら、ロガーからカードを抜いて電源を入れてください。  
 ロガーはこのときコンフィギュレーションモードになり、黄LED(LED2)が、速い点滅をします。  
 SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost.exe)を起動し、つぎの手順で設定変更を行なってください。

⑤設定値がロガーから読み込まれます。⑥ロガーに設定値が書き込まれます。



- ①通信ポートを選択します。
- ②機種を選択します。
- ③通信ポートと接続します。
- ④通信設定が変更できます。
- ⑤設定値がロガーから読み込まれます。
- ⑥ロガーに設定値が書き込まれます。
- ⑦プログラムが終了します。

①通信ポートの選択

プルダウンメニューの中から、使用する通信ポートを選択してください。  
 通信ポートの選択は、プログラムを終了しても記憶されています。  
 接続中は、通信ポートの変更はできません。

## ②機種を選択

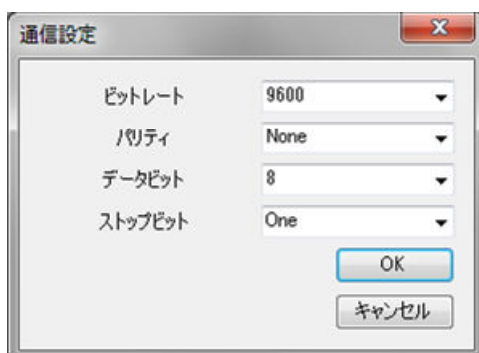
プルダウンメニューの中から、対象機種に該当するものを選択してください。  
機種を選択は、プログラムを終了しても記憶されています。  
接続中は、機種の変更はできません。

## ③通信ポートの接続

[接続(C)]ボタンを押し、通信ポートを接続してください。  
接続中に押すと、接続が切断されます。  
プログラム起動時に(接続可能な場合は)自動的に接続されます。

## ④通信設定

[通信設定(S)...]ボタンを押すと下記ダイアログが現われますので、通信ポートに関する設定を行なって下さい。  
接続中は、通信設定は変更できません。  
通信ポートの選択は、プログラムを終了しても記憶されています。



## ⑤設定値の読み込み

[読み込み(R)]ボタンを押すと、ロガーから設定値が読み込まれ、表示されます。

読み込み中は、経過欄に進捗が表示されます。  
ステータス欄に「正常」が表示されれば終了です。  
エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

## ⑥設定値の書き込み

[書き込み(W)]ボタンを押すと、表示されている設定値がロガーに書き込まれます。

書き込み中は、経過欄に進捗が表示されます。  
ステータス欄に「正常」が表示されれば終了です。  
エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

## ⑦プログラムの終了

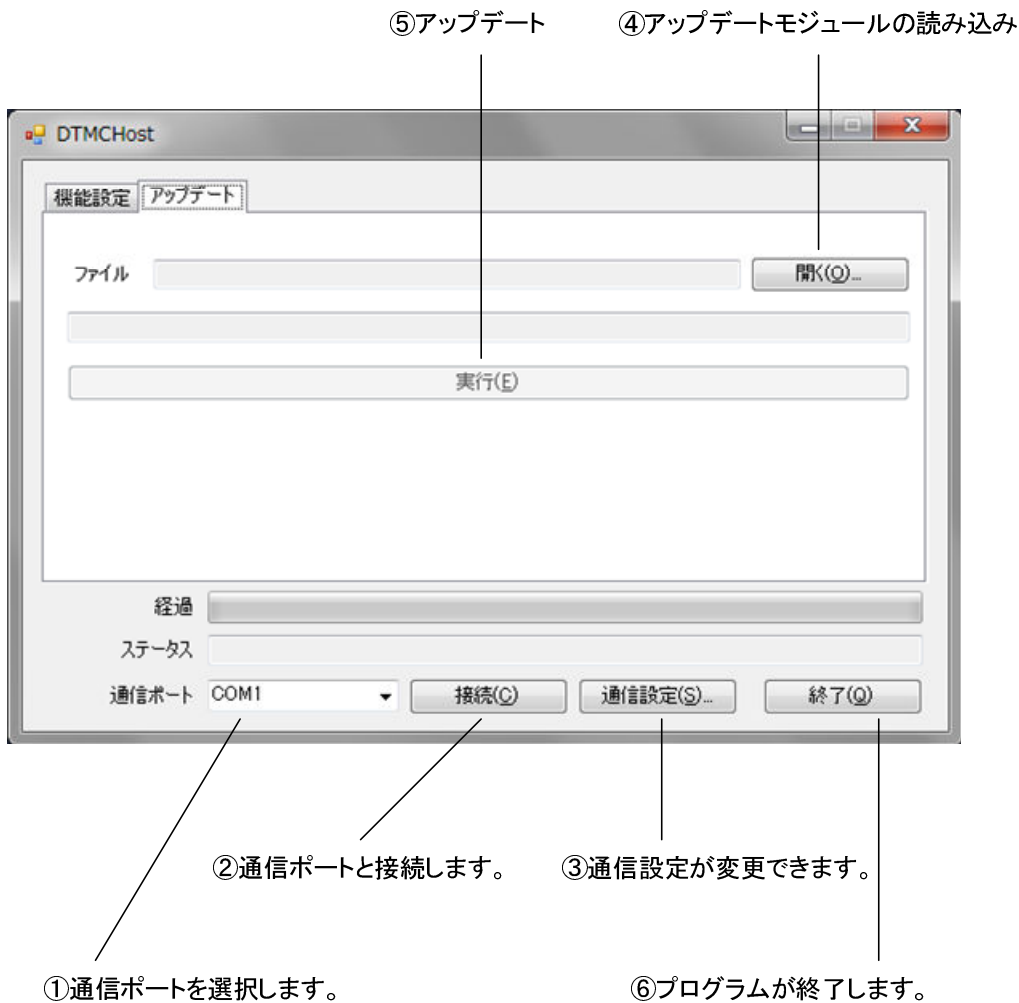
ロガーの電源を切り、専用ソフトを終了させ、ケーブルを外してください。  
ロガーのディップスイッチを、通常の状態に戻してください。  
行なった設定は、つぎにロガーの電源を入れたときから有効になります。

## ■■アップデート■■

ロガーのディップスイッチ7, 8をONにし、アップデートモードにしてください。  
カードを装着していない状態にしてください。カードが装着されているとアップデートモードになりません。  
115, 200bps、データ8ビット、パリティなし、ストップビット1で行なう場合は、つぎのような設定になります。

ディップスイッチ							
1	2	3	4	5	6	7	8
OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON

パソコンとの接続、ディップスイッチの設定ができたら、ロガーからカードを抜いて電源を入れてください。  
ロガーはこのときアップデートモードになり、赤LED (LED3) が、速い点滅をします。  
SDロガー設定・アップデート用ホスト (DTMCHost. exe) を起動し、つぎの手順でアップデートを行なってください。



①～③、⑥は前述「設定変更 (コンフィギュレーション)」(①、③、④、⑦)を参照してください。

④アップデートモジュールの読み込み

[開く(O)...]ボタンから、ダウンロードしたアップデートモジュール (拡張子 fu2) を読み込んでください。

## ⑤アップデート

[実行(E)]ボタンを押して書き込みを開始してください。  
アップデートが開始され、経過欄に進捗が表示されます。  
ステータス欄に「正常」が表示されれば終了です。  
エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

### ■■そのほか■■

---

SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost)は、弊社製品適合機種の設定変更・アップデートを行なう目的のみ、無償でご使用いただけます。

その他の目的には、ご使用にならないようにお願いいたします。

## 株式会社データ・テクノ

京都市下京区西七条東御前田町48番地

〒600-8898 TEL:(075)313-3275 FAX:(075)314-0576

<http://www.datatecno.co.jp/>

・本取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。